

組織

会長	津幡 治久	(平元小学校)			
副会長	関 清志	(十和田中学校)			
事業部	川口 好陽子	(花輪北小学校)	理事	橋本 忍	(尾去沢小学校)
研究部	澁谷 千里	(花輪中学校)	理事	内川 由美子	(十和田小学校)
会計	海沼 智恵子	(花輪小学校)	理事	木村 史子	(花輪小学校)

主な事業

令和2年度総会
(新型コロナウイルス感染症対策
のため書面決議のみ/4月)

県児童生徒美術展鹿角地区審査会
鹿角造形教育研究会 研修会
(文化の杜交流館コモッセ/12月9日)

鹿角小・中・高合同美術展
(コモッセ/1月21日~1月27日)
作品を見合う会 (同/1月27日)

研究会(事業)の記録

鹿角造形教育研究会 研修会(12/9)

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、全県での研修の機会は少なかったが、県児童生徒美術展鹿角地区審査会に合わせて実技研修会を実施した。

本地区研究会副会長の関清志先生を講師に、「洋の東西と美意識」と題して、平面構成の演習を行った。演習を通しての考察として「中学校で初めて抽象的な表現に取り組むが、どのような構成に美(心地よさ)を感じるのかといった根底は小学校の造形遊びの中にも見られる」というお話があり、小・中の接続・連携においても示唆に富む内容だった。

県児童生徒美術展鹿角地区審査会(12/9)

今年度は、小・中合わせて90点の作品が出品され、そのうち23点の作品が入賞し、5点の作品が地区審査にて話題作に選ばれた。

鹿角小・中・高合同美術展(1/21~1/27)

作品を見合う会(1/27)

今年度も小・中・高合同美術展を開催した。県児童生徒美術展に出品された小・中学生の作品90点のほかに、高校生の作品も展示され、多くの来場者に鑑賞していただくことができた。また最終日には県造形教育研究会会長の木村伸先生をお迎えして、作品を見合う会を開き、鹿角の課題や今後の方向性などについて研修を行った。

小学校の低学年で体験したさまざまな技法を、中学年、高学年で自分の思いを表現する手段として使えるような学年の接続を意識した指導の大切さや「描きたい」と思わせるための教師の導入段階での働きかけ、題材との出会わせ方の工夫の重要性について再確認することができた。



実技研修会の様子



美術展のポスター



話題作(小1)



入賞作品(小5)